

創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章－2章	3章－4章	5章－9章	10章－11章	12章－38章	39章－50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

42章後半のポイント

ヨセフは兄達を3日間に渡って監禁しました。兄達はそこで昔、自分たちがヨセフにした仕打ちを思い起こしていました。しかし、ここで長兄のルベンが衝撃の発言をします。「彼の血の報いが(22節)」ルベンはヨセフが命を落とすことが無いように空井戸に落とすところまでは知っていましたが、その先エジプトの商人に売られたことは知らなかったのです。血のついた服を見て、ヨセフは死んだと思っていたのです。

23節ではそのような兄達の会話をそばで聞いていたヨセフの姿も記録されています。この兄達の会話の中で、長兄のルベンはヨセフの命を守ろうとしていた事も明らかになりました。ヨセフは24節で涙を流しました。「泣いた」と訳されるバハー(ヘブライ語)は喜びの涙とも悲しみの涙とも訳される言葉です。ヨセフの複雑な心境を表しています。

学びましょう

1. 43章1節～15節を読んでみましょう。

2. 43章1節～15節のポイントを把握してみましょう。

(1)手放せないヤコブ

1節～2節ではヤコブ家族が置かれている状況を「飢饉は激しくなってきた」「穀物がいよいよ底をつき」と記録しています。7年の飢饉のうち2年経った頃だと思われています。ヤコブの家族が住んでいたカナン地域にも食べ物はありませんでしたし、エジプトからもらってきた食べ物も底をついてしまいました。そこでヤコブは再度エジプトへ行って穀物をもらってくる以外に方法がない状況になってしまったのです。そこでヤコブは子供達にエジプトへ行くようお願いしました。

しかし、そこで子供のユダが思いがけない言葉を発しました。今度、エジプトに行く時には、末っ子のベニヤミンを連れていかなければならないというのです。ヤコブにとってベニヤミンは最愛の妻ラケルとの間に生まれた子供でした。最愛の妻から生まれたヨセフを無くし、ベニヤミンまで失うことは考えられませんでした。

生きるか死ぬかの場面で、ヤコブは決断を迫られる事になりました。私たちは、恵みを受けるために、時には、自分の愛し頼るものを手放す事ができるか…という事が問われる瞬間がやってきます。

(2)創造主に任せる決断をするヤコブ

父ヤコブの心配を聞いたユダは、9節で自分がベニヤミンの保証人になると申し出ました。また、「ぐずぐずしていなかったら、とうの昔に買い出しに行っておられたはずです」と語り、判断が遅くなれば家族みんなに相当の影響が出る状況であった事が分かります。

決断を迫られた父ヤコブは、決断をします。自分の頼りであり、愛していたベニヤミンを任せる決断をしたのです。13節でこのように語っています

「ベニヤミンも一緒に行ってもよい。全能の創造主がその人の前でお前達を守ってくださるように。…私も失う時には失うものだ」ヨセフは完全にベニヤミンの命を創造主に任せました。失う時には失うものだ、これは諦めではありません。自分の管理を、自分の支配を手放す。その決断の言葉の裏返しでもあります。

創造主は、人生の様々な場面で大きな恵みを与えてくださる時があります。でも、その前に、一つの事を求められる事があります。それは、私たちが手放す必要があるものを、完全に手放すように求められる事です。世の中の楽しみ、快樂、名誉、創造主の代わりに握っているもの、創造主以上に頼っているものなどです。

もし今、人生の中で主が何かを手放すように語られていることはないでしょうか。主に委ねる時に、代わりに創造主は思いも寄らない恵みを与えてくださいます。

1. 教会と記念館の為

(1) ビジョン達成のために

- ①「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。
- ②2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主によって強められるように。

(2) 教会のため

- ①教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為
- ②教会の共同体の関係祝福のために
- ③教会の靈的成長・成熟のために
- ④地域との関係
- ⑤ユースの学び会の為に

(3) ノアの箱船記念館のため

- ①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様に。
- ②ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為に

(4) 教役者のために①堀越葉満主事のため ②宮崎聖牧師家庭のため

2. 教会員の方々の為に

(1) 病にある方々の為に・平安があります様に

(2) 教会からしばらく離れている方の為

(3) 今月の祈禱課題の方々のために

3. 伝道と宣教の為

(1) 洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

(2) 受洗後の学びをされている

(3) 伴侶の救いの為

(4) 伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

- ①レプトン ②ゴスペル・フラ ③卓レシア ④女性集会
- ⑤創愛クラブ ⑥クラフトカフェ ⑦ノア・パーク

(5) ログス・ホープ号乗船